

伝える絆を創造する

伝達力に拘る、動画生成AI スマートアバター®シリーズ



研究・開発元：有限会社BOND

目次

- 1、BONDが世界に先駆けて研究・開発するツールについて
- 2、「動画を作ること」と「伝わること」はちがう！
- 3、今の動画ツールの限界
- 4、AIスマートアバター®ができること
- 5、会社の「伝達力」を経営の強みにする戦略的投資
- 6、キャラクターが伝えることで、会社の信頼が高まる
- 7、まとめ
- 8、参考文献
- 9、AIエージェント「動画生成AIスマートアバター®」受賞歴

1、BONDが世界に先駆けて研究・開発するツールについて

有限会社BOND (<https://f-bond.co.jp>) は、紙から動画による伝え方改善・改革で、豊かな人間関係と人手不足などを補うために世界に先駆けて、AIエージェント「動画生成AIスマートアバター®シリーズ」を研究・開発しています。

この独自AIの開発により「テキストや画像」など、伝える情報を入力するだけで、AIスマートアバター®が、表情や仕草など総合演出を全自動で行いながら案内役を務める番組が、短時間で繰り返し何度でも生成されます。

今まで「紙で、読んで理解する情報」を「解り易い動画で、観て聞いて感じる情報」へあっという間に変えることで、人に代わって伝える業務や効率を補い、これからの多様な伝える課題を解決します。（多言語連携可）

【 AIエージェント「動画生成AIスマートアバター®シリーズ」 】 特許

- ①手入力で番組生成し放題、PC版
- ②データから自動生成し放題、API（ApplicationProgramInterface）
- ③自由な質問にも双方向で親切丁寧に伝える、対話型AI
- ④上記拡張ツール：遠隔操作案内・コンテンツ管理配信システムを無償で提供

※PC版による番組動画制作請負サービスも展開中



2、「動画を作ること」と「伝わること」はちがう！

例えば、多くの会社では動画制作ツールの普及により、動画づくりは効率化されています。しかし、「伝わるかどうか」は別の課題として残っています。

こんなことはありませんか？

- 研修はやっているが、身につけていない
- 安全動画は見ているが、事故は減らない
- コンプライアンスは実施しているが、形だけ
- 採用動画は増えても、応募の質は変わらない



これは、「動画はある」けれど、見る人に一方的に伝えるだけで、心に残らず、「本当に伝わっていない」状態です。

3、今の動画ツールの限界

動画編集ツールは「作ること」は得意です。

でも、次のことはあまり考えられていないようです。

BONDツールによる、北九州空港の伝え方改革



① 気持ちへの配慮

人は、言われ方によっては反発したくなります。
正しいことでも、心が閉じてしまうことがあります。

② 内容に合った表情や話し方

大事な話なのに、表情や話し方が合っていないと、
伝わりにくくなります。

③ 見たあとに「行動」する仕組み

見るだけで終わらず、
「やってみよう」と思える設計までは考えられていません。



4、AIスマートアバター®ができること

BONDは、ただ動画を作るAIではなく、人の心に寄り添う伝達の在り方を世界に先駆けて研究してきた会社です。

① 内容に合わせて表情や話し方を変える

BONDのAIは、入力された文章の意味や気持ちを読み取り、伝わるためにどんな表情や仕草、総合演出がよいかを番組さながらに自動で設計します。これは「伝達力」にこだわり研究してきたからこそ実現できた技術です。だから、ただの説明動画ではなく、理解しやすく納得しやすい動画になります。



② マスコットキャラクターが話すことで反発をやわらげる

人は強く言われると反発しがちです。BONDは「どうすれば素直に受け取れるか」を研究し、キャラクターによる共感型の伝達を実現しました。キャラクターが語りかけることで情報は受け入れやすくなるのが、多くの研究で示されています。

③ 「知らせる」から「動かす」へ

多くの動画は「知らせる」ことが目的です。

しかし、BONDは研究・開発段階から、行動が変わるところまでを設計しています。

5、会社の「伝達力」を経営の強みにする戦略的投資

キャラクターが伝えると・・・

→ 素直に受け入れる → 組織の空気が変わる → 行動が前向きになる

※キャラクターによる共感的な語りかけは受容性と信頼を高め行動変容につながるということが研究で示されています（Reeves & Nass, 1996 他）。

会社にとって「伝える力」は、とても大切な「力」です。

ただ情報を知らせるだけでは、人の心や行動はなかなか変わりません。

相手にきちんと伝わり、「やってみよう」と思ってもらえること。

それが本当の伝達だと私たちは考えています。

伝達力を仕組みとして持ち、育てていくことは、
会社の未来を強くすることにつながります。

BONDは本提案を、人手不足が続く時代において会社の「伝える力」を強化する重要な取り組みであると位置づけています。

BONDのAIは、人に代わって
24時間伝える、寄り添う

人の力を
引き出すAI

意欲を
引き出すAI

能力を
引き出すAI



【参照】アサツー ディ・ケイ キャラクターマーケティングチーム
R&Dディレクター 野澤 智行 氏

https://adv.yomiuri.co.jp/ojo_archive/tokusyu/20120405/201204toku1.html



社会的意義のあることに
参加してほしい!

⇒企業活動への共感・参加
例) 環境保護・弱者支援など生活
者参加を前提とした活動で、キャ
ラクターがシンボルになる



詳しく知ってほしい!

⇒商品や企業活動に対す
る理解の促進
例) Webやイベントで、
キャラクターが商品説明・
体験のガイド役になる



注目してほしい!

⇒企業・商品・サー
ビスの認知向上
例) キャラクターを
活用した広告・商品
パッケージで、店頭
視認性を高める



ソーシャル
コミュニケーター

「企業の社会的価値」
の共有

Value for us
「私達にとって良いこと」
企業活動の枠を越えて社
会的な意義のあるメッセ
ージを発信、共有を促す

ナビゲーター

Value for me
「私にとって良いこと」
生活者が購入・使用して役
に立つこと、得することを伝
える、わかった気にさせる

アテンションゲッター

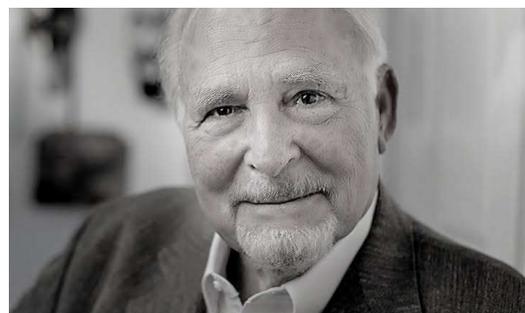
「売るための」
情報伝達



6、キャラクターが伝えることで、会社の信頼が高まる

「ちゃんと伝わる仕組み」を持っている会社は、社会からの評価も上がります。

※人的資本経営報告書（経済産業省2022）やISO45001などでも、実効性ある教育・伝達体制は企業評価に関わると示されています。



参考：ポール・エクマン：Paul Ekman、1934年 - 「感情」と「表情」に関する先駆的な研究を行ったアメリカ合衆国の心理学者



Copyright © BOND Co., Ltd. All Rights Reserved.

7、まとめ

AIスマートアバター®は、

「動画づくりのDX」ではなく、

「伝える絆を皆様と創造し、組織文化を育てていくDX」

を目指しています。



これまでは、

動画を作る

ことがゴール



これからは、

伝わり、行動が変わる

ことがゴール

8、参考文献

【理論的背景】

- Reeves, B., & Nass, C. (1996). The Media Equation.
- Horton, D., & Wohl, R. (1956). Mass Communication and Para-social Interaction.
- Ajzen, I. (1991). The Theory of Planned Behavior.
- Schein, E. H. (2010). Organizational Culture and Leadership.

【経営・制度】

- 経済産業省 (2022) 「人的資本経営の実現に向けた検討会報告書」
- ISO 45001:2018 Occupational Health and Safety Management Systems

【AI・社会動向】

- McKinsey & Company (2023–2024). The State of AI.
- World Economic Forum (2023). The Future of Jobs Report.

9、AIエージェント「動画生成AIスマートアバター®」受賞歴

2013年 マサチューセッツ工科大学 日本分科会主催第13回MIT-VFJ優秀賞（一位）

2014年 キャロラインケネディ駐日大使表彰

2014年 日本政策投資銀行コンペティション表彰

2015年 経済産業省 自治体×ベンチャーマッチングイベント佐賀県賞。

2016年 福岡県新商品認定・北九州市トライアル発注認定商品認定

2017年 福岡県ベンチャーマーケット2017特別賞

2019年 公益財団法人りそな中小企業振興財団

第31回 中小企業優秀新技術・新製品賞 奨励賞受賞

2023年 北九州発、新商品創出事業認定

2024年 福岡県新商品の生産による新事業開拓者認定

2024年 IT補助金2024 支援事業者認定